

平成31年度重点施策

若い世代を増やす

加賀谷 新たな子ども・子育て支援事業計画で重点的に取り組む内容は、



公明党 加賀谷 勉議員
健康、福祉政策の充実をのぞむ

市長 子育て世代を対象に実施したアンケート結果を参考に、子ども・子育て会議で内容を決定していく。特に、待機児童の解消に向けての取り組みや児童虐待防止のための支援体制の充実

土方 平成29年の文部科学省の調査で、狭山市は、教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数が1千817団体中、ワースト2位であった。学校ICT環境の整備の進捗状況と今後の計画は、
市長 30年度は、小学校の

中村 市民がもっと狭山茶に対し関心を持ち、理解を深めて、狭山茶の伝統文化を知るようなイメージアツプ戦略をどのように考えているのか。
市長 オリピックを控えたこの時期を文化振興の絶好の機会と捉えている。さやま大茶会に加え、市民ボランティアの協力を得て、茶道体験会を新たに開催する。また、小学5年生の総合的な学習や家庭科で、お茶の淹れ方や歴史を学び、子供の頃から狭山茶に親しむ機会を設けている。



市政運営をみんなの力で

田村 協働によるまちづくりを広く市民に浸透させるための方策と、実効性のあるものにする仕組みとはどのようなものかを考えるのか。

コンピュータ室のパソコン20台を軽量タイプのパソコン40台と入れ替えし、31年度は中学校で実施する。今後、各校に無線LANを導入するための調査設計を行い、学校ICT環境の整備を加速していく。

望月 要保護児童対策において、関係機関と情報共有を行い、悲惨な事件の防止に取り組むとある。他市では、共有する個人情報を開示してしまつた事例があるが、本市の対応は。
市長 相談内容を含め共有する情報は個人情報である

り、その内容を開示することはない。

まちと産業に活力を



創造 町田 昌弘議員
市長公約の達成度合いを問う

町田 入曽駅周辺整備事業の進捗に合わせた市民への説明の時期は。
市長 土地区画整理事業の事業認可や駅舎整備の詳細な計画を示せる段階など、事業の節目に実施する。

から質問!

市長の施政方針
会派市長に



第1回定例会で、小谷野剛市長が平成31年度の市政を運営していくための、基本的な考え方と重点施策の概要を述べ、各会派の代表がそれぞれ質問を行いました。
ここでは、各会派の質問と市長の答弁から、要旨を体系に沿ってお知らせします。



創政会 田村 秀三議員
狭山市の産業に活力を

市長 広報やホームページなどで条例の内容を説明し、市民と市が情報を共有する場を積極的に設け、継続的に啓発に取り組む。
また、実効性のある仕組みについては、人材や活動拠点、資金などに関する情報を一元化し、必要な情報を提供することで、市民協働が拡大していくものと考



はつらつ狭山 中村 正義議員
めざせ!!! 市民福祉の更なる向上

中村 人権尊重意識の高揚の方策をどう考えるか。
市長 多様性を互いが認め合い、尊重し合える社会的包摂の実現を図っていくことが重要であると考えている。あらゆる人権が守られる持続可能な地域社会の実現に向けて、「SDGsの「誰一人取り残さない」という理念も踏まえながら、引き続き啓発活動に取り組んでいく。

望月 政府は増税の緩和対策として、税収よりも多額の費用を使い、プレミアム付商品券などを発表している。自治体の事務負担も大きいことから、狭山市としても国に声を上げるべきと考えるが、見解は。
一人ひとりを大切に市政



日本共産党 望月 高志議員

市長 消費税率引き上げに伴うプレミアム付商品券事業は、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起し、下支えすることを目的に実施を予定するものであり、事業の適切な実施に向けて準備を進めていく。

田村 狭山市ビジネスサポートセンターによる伴走型ビジネスコンサルティング業務として見込まれる、具体的な支援内容と専門相談員の経歴は。

予算概要

町田 31年度の予算案を「名実ともに次の時代への架け橋となるもの」とあるが、他年度との違いは。
市長 各年度の予算は事業の進捗状況などを踏まえて毎年最適な編成に努めている。特に、31年度については、公共施設の再編計画に基づく事業や、都市基盤整備事業など優先的な事業については先送りせず、重点的に予算配分した。

結びに



新政みらい 土方 隆司議員
市民福祉の安定と学校教育の充実

土方 「今年は平成と新時代をつなぐ1年となる」とのことだが、そうした時代の変わり目であっても、政治の安定と市民福祉の安定は変えてはならないと考える。今後の

市長 中小企業の経営者や創業希望者に、企業の稼ぐ力を向上するために、1回60分の無料の経営相談を実施する。センター長の専門相談員は、マスコミ業界での勤務経験や経営コンサルタントのほか、新規事業の創出支援や中小企業や起業家向けのセミナー経験も豊富な方である。



楽しめる健康高齢社会を

加賀谷 地域公共交通会議の充実と検討をより加速化させる必要があると考えるが、見解は。
市長 これまで地域公共交通会議では、公共交通の現状や課題について共通認識を図るとともに、茶の花号の運行ルートなどの見直しを行ってきた。今後も継続的に会議を開催し、地域事情を踏まえた新たな交通手段のあり方など具体的な協議を進めていく。

市政運営にあたり、市長の所信は。
市長 狭山市は多くの先人の努力の積み重ねにより発展してきた。今も多くの市民が地域をよくするために活躍をされている。こうした市民の力を次の時代へつなぐことで、安定が確保され、これが持続可能なまちづくりにもつながっていく。新時代に待ち受ける課題は山積しているが、こうした課題にチャレンジする力を狭山市は持っている。その力を次の時代へつなぐ、まちの活力が持続されていくよう引き続き全力で取り組んでいく。



※元号表記については発言当時の元号を使用しています。